

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	広島経済大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒロシマケイザイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F134310109848
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	広島県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップⅠ(国内)
	学部・研究科等名	経済学部 経営学部 メディアビジネス学部
	担当教職員名・役職	岡田 斎：教授、小笠原 礼以：教授、高石 哲弥：教授、堀江 浩司：教授、 松榮 豊貴：助教、澤 滋久：准教授、藤口 光紀：教授、宮田 庄悟：教授、 山本 雅昭：教授、渡辺 勇一：教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	67
	受入企業等数	37
	受入企業等名	地方公務、企業（卸売・小売、製造、金融、建設、情報通信、サービス、不動産、宿泊等）、その他（社会保険労務士法人、税理士法人）
	インターンシップの分類	6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	本講義は就業体験を重視したプログラムとし、履修学生はインターンシップを通して働くことの目的や意義、心構えを学ぶことを目的としている。インターンシップ期間中は受け入れ先企業における座学や現場での就業体験および営業同行、グループワークなどを経験し、意識の向上と実社会で必要とされる実践力について学びを深めている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	本講義は全学科の2年次生を対象に実施している。シラバスにおいて授業内容や到達目標を明確に示し、専任教員のべ10名が2クラスに分かれ、1教員あたり6～7名の学生を指導している。全15回の講義のうち、9回の事前学習、夏期休暇中のインターンシップ、4回事後学習に加え、報告会での学生発表（履修者全員）に向けて授業時間外にも各教員による個別指導を行うことで、学生の到達目標達成をサポートしている。

要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ期間中に教職員が可能な限りインターンシップ先を訪問し、企業担当者を通して、プログラムの進行状況や学生の様子を確認している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前学習は全15回の講義のうち、9回で行っている。内容は①インターンシップの目的、②ビジネスマナー講習、③業界・企業研究、④自己紹介書の作成（個別）、⑤発表資料のまとめ方、⑥発表の手法等、である。事前学習では座学に加え、個別指導にも力をいれている。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	事後学習は全15回の講義のうち、4回で行っている。内容は①発表資料の作成（個別）、②グループ発表（個別）、③全体報告会等である。講義としては4回だが、発表資料の作成やグループ発表については、全体報告会に向けて各教員が担当学生と時間を調整し、学生たちの発表データや発表内容について繰り返し指導している。事後学習ではインターンシップでの学びの成果を明確にするために、教員による個別指導に力を入れている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ期間中に、教職員が可能な限り企業担当者を訪問し、学生に対する印象や様子、プログラムの進行状況などを確認している。また、学生と面談できる場合は、成果や学びについて直接話しを聞き、必要なアドバイスを行うこともある。	
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	
4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている	
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み		

要素④	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習で作成する自己紹介書では自己紹介文の他、インターンシップ参加に向けた目標を明記し、教員が内容を確認した後に受け入れ企業に提出している。事後学習では目標に対する振り返りや学びの整理を行い、報告会における全員発表で意識や行動の変容を確認している。報告会当日にはインターンシップ参加学生の発表データを冊子にまとめ、報告会に参加した企業担当者や来場者に配付し、学びの成果を共有している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	実施期間 5 日間から 1 0 日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容 5-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップは受入依頼の際に原則5日以上就業体験期間を設けていただくようお願いし、事前に企業から提出されたプログラム内容（スケジュール）をキャリアセンターで確認している。受け入れ先企業の多くは5日間での受入だが、多岐にわたる業務が体験できる企業においては10日間程度のプログラムを準備していただくこともある。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容 6-3.上記回答内容に関する詳細	学生にはインターンシップ期間中に日誌の記入を義務付けている。実習内容やその日の気付きや反省などを記入し、毎日、企業担当者に渡して、コメントやフィードバックをいただいている。また、終了後には、担当者に本学所定の「評定票」を記入していただき、各項目に対する数値での評価やコメントなどを担当教員と学生で共有している。また、期間中に発生した問題はすぐに対応できる協力体制が整っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	広島経済大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	課長
		小池 剛
	電話番号	082-871-1004
	メールアドレス	oi@hue.ac.jp